

大成建設株式会社と室蘭市によるカーボンニュートラル実現のための包括的な連携の取組みについて

浮体式洋上風力発電関係の技術開発から取り組みます

大成建設株式会社　　2021年11月17日

大成建設株式会社（代表取締役社長　相川 善郎）と室蘭市（市長　青山 剛）は、2050年カーボンニュートラル実現のため、室蘭市内（室蘭港）において、浮体式洋上風力発電関係の技術開発をはじめとした洋上風力関連産業の展開について、双方が包括的に連携し、共同で地域発展のために取り組んでまいります。

再生可能エネルギーの主力電源化に向けた切り札として期待される洋上風力発電産業は、今後、大きな市場の創出が考えられる一方で、実用化に向けた技術開発が必要です。

室蘭港は、洋上風力発電事業の適地として特に風況が良い北海道・東北地域沿岸部に対して近く、洋上風力関連産業の展開について大きなポテンシャルを秘めています。室蘭港は、絵鞆半島によって太平洋から遮蔽された天然の入り江となっており静穏で、北海道内では温暖で降雪量も少なく、原材料や資機材、洋上風力発電設備の輸送を含めた作業への影響が少ない港湾であり、浮体式洋上風力発電関係の技術開発に必要となる一定規模の土地の確保も可能であることから、今回の取り組みに至りました。

なお、大成建設は平成30年度より環境省の地域連携・低炭素水素技術実証事業を事業代表者として室蘭市内で実証中であり、今後も室蘭市と連携して水素利用普及にも取り組んでまいります。

【連携事項】

1. 室蘭港における浮体式洋上風力発電関係の技術開発に関する事項

2. 室蘭市内における洋上風力発電関連産業の展開（地域サプライチェーン構築）に関する事項

3. 室蘭市内における再生可能エネルギー・水素活用等のカーボンニュートラルの実現に関する事項



（写真　室蘭市での調印式）

右）大成建設／田中　茂義　代表取締役副社長土木本部長　左）室蘭市／青山　剛　市長

【大成建設株式会社】

【室蘭市】